



西新井 消防団だより

発行 令和6年 No.100W

編集・発行

西新井消防団 広報委員会

おかげさまで通巻 100 号

この掲載記事はインタビューの一部抜粋です。全文、経歴は巻末に掲載しています。



元井新団長インタビュー

西新井消防団は3月31日に田口治雄氏が消防団長を勇退したことに伴い、新団長に元井一壽氏が着任しました。その着任間もない元井消防団長からお話を聞く事が出来たので掲載いたします。

「歴史ある西新井消防団の団長を務めることとなりました、元井一壽です。よろしくお願いします。

さて、私たち西新井消防団管内には木造家屋の住宅密集地域が沢山あります。このような地域には我々消防団の活動が必要とされていると思っています。地域の特性や住民の方々の事など良く知っているからです。団員の皆さんには、本業の仕事と両立しながら大変な苦勞をされて日々の訓練に励んで頂いている事とされます。でもこの苦勞は実際に災害が起こった時の為の準備として必ず役立っていると思っています。お体などに無理をせずに、引き続き訓練に励んでいただければと思います。また、新しく入ってきている消防団員の皆さんにおいては、この消防団活動に対しての達成感や誇りを感じてもらえたらと思います。皆さん、よろしくお願いします。」

老若男女、みんなで防災!!

都市農業公園防災DAY

3/17日 10:00~15:00

防災DAY

拡大版

「もしも」の時に
備えよう



3月17日(日)都市農業公園で開催された「防災DAY」に出場しました。出場した消防団員は初期消火体験や救護体験など複数のブースを担当し、参加・体験してくださった皆様の防災意識を高めることができました。

分団トピックス 日々の分団活動

2分団 本木出張所 消防ふれあい祭り

本木出張所消防ふれあいまつりが、5月12日(日)に行われました。一番人気は、ミニ防火衣を着てミニ救急車に乗っての写真撮影でした。きっとこの中に、未来の消防団員、消防士として活躍する子どもたちがいることでしょう。



5分団伊興中央町会春祭りに参加



3月17日(日)若宮八幡宮神社境内で開催された伊興中央町会春祭りにおいて『防災体験コーナー』を開設しました。

消防団は子供達に筒先ノズル保持、もやい結びロープワークなどを体験してもらい子供達の防災力意識を図ることができました。



8分団4部格納庫ソーラーパネル設置

8分団4部格納庫は電気が供給されておらず、配備されている充電器ではポンプのバッテリーを充電することができませんでしたが、団員の発案で新たに太陽光発電を利用した蓄電池などを設置しました。

これからはバッテリーあがりの不安なく出場に備えることができ、また、夜間の点検時に使用していたガソリン式発電機の近隣への騒音防止も期待できます。

格納庫上に設置したパネル



東京消防庁・足立区合同 総合水防訓練 令和元年台風19号を教訓に



さる5月25日に荒川右岸大川町緑地において総合水防訓練が行われました。写真は5、6分団が、台風時など堤防から急激に増水により堤防の欠損を防ぐための対策として、積土の工法の訓練を行っている様子です。



第73回はたらく消防写生会

今年も小学校で、春の写生大会が開催されました。青空の下、消防車や救急車、ホースを抱えた消防団員の防火服姿に歓声をあげながら、それぞれが思い思いの絵を書き上げていました。



1分団 亀田小学校



5分団 西伊興小学校



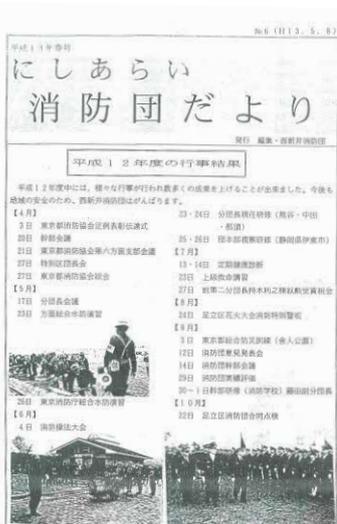
6分団 東伊興小学校



7分団 舎人第一小学校

西新井消防団広報紙の変遷 おかげさまで通巻 100号発行

西新井消防団広報紙はこの度100号を発行することとなりました。地域の皆さんに消防団活動を広く知って頂くため平成 年 月創刊され、時代とともに紙面のカラー化、西新井消防署ホームページへの掲載と進化してきました。今後とも広報委員会委員一同内容が充実した紙面を皆さんにお届けします。



平成 13年 5月 No,6



平成 21年 5月 No,37



令和元年 7月 No75 カラー化開始



令和 2年 10月 No79WEB 版開始

西新井消防団

消防操法大会開催 雨の中の勇者たち

6月2日(日)、消防操法大会が開催されました。

出場の順番により、運命が変わり、曇り、小雨、大雨の中、選手たちは、逆境に負けず、訓練の成果を力いっぱい出しきりました。

優勝は8分団、2位は3分団、3位は7.9分団という結果となりました。

詳しくは7月上旬発行 WEB 版操法大会特集号をご覧ください。



応急手当
まず行動 救える命 あなたから



《就任異動》4月1日

(カッコ内は前職)



副団長
(団本部分団長)
小松原 邦彦



団本部分団長
(団本部副分団長)
志水 高広

表彰

《令和6年消防長官永年勤続功労賞》

3月4日付

本部分団 分団長 矢ノ倉 三郎



《日本消防協会定例表彰》

3月8日付

《功労表彰》

6分団 副分団長 渡辺 広一

《勤続章》

3分団 副分団長 田賀谷 浩

6分団 副分団長 渡辺 広一

6分団 副分団長 矢崎 昇

1分団 部長 栗原 茂

5分団 部長 大桃 勝彦

5分団 部長 堀之内 晴信

《東京都消防協会定例表彰》

3月28日付

《功労表彰》

5分団 副分団長 吉田 功

7分団 副分団長 横田 和夫

《優良表彰》

9分団 副分団長 高松 栄一

2分団 部長 小泉 一史

3分団 部長 滝口 信雄

7分団 部長 山口 敏光

8分団 部長 横山 進

8分団 部長 鈴木 俊明



求む消防団員

西新井消防署 03-3853-0119

入団エントリーは
QRコードからも👉



元井新団長インタビュー 全文 経歴

3月31日に田口氏が西新井消防団長を退任されて、後任に元井一壽氏が新団長に着任しました。記念すべき広報誌100号の第一面は、元井新団長のお話です。着任間もない4月16日にインタビューをして、着任後の気持ちや抱負をお聞きしてみました。聞き手は広報委員会斎藤です。

聞き手：元井新団長、まずは就任後のお気持ちと団長としての活動等をお聞かせください。

「歴史ある西新井消防団の団長を務める事となりました元井一壽です。よろしくお願ひします。そうですね、着任してしばらくは、余り団長になった実感がありませんでした。着任してからはかなり多忙な時間を過ごしました。といっても、着任後の業務は直接の消防団活動よりは、対外的な内容で足立区長より辞令の交付、そして各関係者への挨拶回りでした。これらが段落して今は、団長の重みをものすごく感じています。9個分団の最高位と成るわけですから。ただ、なったからには西新井消防団の伝統を大切にしていきたいと思っています。いきなり革新の方向にはしたく無いと思っています。」

聞き手：ありがとうございます。着任と同時に西新井消防団の顔となっている訳ですね。団員には何かメッセージがありますか。

「西新井消防署管内には本木や興野地区の様に、細い道を挟んで木造家屋が密集している地域が沢山あります。その様な地域には、特に消防団の活動が必要とされると思います。何しろ、住んでいる人や地域の特性などよく知っていますからね。団員の皆さんには仕事と両立しながら、日々の訓練は大変ですが必要だと思っています。実際に災害が起こった時の為の準備と成るわけですからね。操法大会に向けての練習と言うよりは、災害に向けての準備と思ってもらえれば、自然と団員の意識も高くなっていくと思います。ただ、その団員が不足している事は十分感じています。昔は消防団員になる方は農家の旦那や地元の名士が多かったと思います。しかしながら現在は勤め人や学生さんで若い方々が多くなっています。時代がものすごく変わってきているとは思っています。今は興味を持って、自分から入団してくれる人も増えてきていますが、やはり昔も今も同じで、分団長、副分団長などの人脈から糸をたどって発掘していく事も必要とは思っています。ただ、入ってくれと言っても、嫌々な気持ちで活動するのは良くないと思います。消防団に入ってよかったなと思われる人が沢山出来ればうれしい事だと思います。これから消防団員になる皆さんにはこの仕事に対する達成感や質を大切にしていきたいと思っています。そして、若いうちからぜひ携わってほしいと思います。」

聞き手：ありがとうございます。新体制の団全体についてはいかがですか。

「先ほどもお話をしたように、いきなり革新の方向にはしたく無いと思っています。ただ、現在の優秀な分団長達がどんどん上の方に上がってきてもらいたいとは思っています。一部の管理職と幹部だけで決めて進むのではなく、連絡と相談をしながら行動を行っていく必要があると思います。ただ、職務をまじめに遂行する事は大切な事だとは思いますが、あまりのめり込むことも良くないと思います。体や心も壊してまでのめってやる事は無いと思っています」

聞き手：長時間、有難うございました。結びにご自身が消防団活動を長くできた要因はどんなことでしょうか。教えてください。

「大きく分けて二つあります。一番大きい要因は家族の理解だと思います。次は自分が修行を経て山伏の先達となったときの教えです。山伏は何を尋ねられてもうけたもうと答える事が原則です。この事が長く続けられた要因だと思いますね。改めて西新井消防団の皆さん、よろしくお願ひします。」

消防団長で在りながら現在も山伏の修行を行っている、元井団長。厳しい修行にも耐えてきたからこそにじみ出る人の温かさが感じられるインタビューとなりました。



経歴

昭和51年5月7日団員（西新井消防団入団）
昭和62年4月1日班長に昇格
平成9年3月1日部長に昇格
平成10年4月1日副分団長に昇格
平成23年4月1日分団長に昇格
平成29年4月1日副団長に昇格
令和6年4月1日団長に就任